

第8回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第7回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果を取りまとめましたので、お知らせします。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成23年12月調査

	調査数	前回調査		今回調査		
		A	見通し	B	(B-A)	見通し
		現況 (H23. 9)	見通し (H23. 10-12)	現況 (H23. 12)	前回現況 との対比	
総 合	100	-34	+11	-40	-6	-14
農業	10	-56	±0	-57	-1	-29
建設業	11	+13	+38	-25	-38	-13
製造業	11	-30	+10	-40	-10	+20
卸売・小売業	25	-28	-24	-56	-28	-8
観光業	10	-70	+50	-40	+30	-20
飲食業	10	-50	±0	-30	+20	-10
サービス業	23	-26	-26	-31	-5	-26

結果のポイント

- ・総合景況感は、依然としてDI値マイナス（40）である。
- ・前回9月調査値（-34）と比べるとマイナス6となり、景況感は悪化した。

- 調査目的 本市の経済動向をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容
 - （1）現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
 - （2）3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
 - （1）現在の景況感（2）3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い（良くなる）」の構成比から「悪い」「悪くなる」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
 - 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
 - 「DI」（Defusion Index、デフュージョン・インデックス）は、企業や業界の景況感などを数値化した指標のことで、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」（日銀短観）などで用いられています。